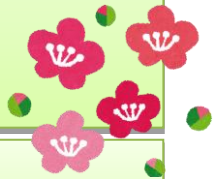


平成 26 年度 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート Vol.1 1 平成 27 年 3 月 16 日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会事務局
 (基幹相談支援センター) TEL：078-918-5252



【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

梅の花が満開となり、春の訪れを感じさせる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか？今回のリポートは平成 26 年度のしごと部会を振り返り、山崎部会長、賀部副部会長より報告いたします。

～しごと部会 平成 26 年度を振り返って～

① 平成 26 年度のしごと部会について

【山崎部会長】「しごと部会」としての新たな活動が今年度から始まり、様々な視点から「はたらく」ことについて取り組んできました。今年度のワーキング活動を振り返ってみて当初は、細分化しすぎたように思えたワーキングですが、就労支援に必要なキーワードをそれぞれテーマごとに共有し、課題解決に努めた地域に向けて情報発信ができたように思えます。スタッフ間においても顔の見える関係ができ、ネットワークの構築が進んだと思います。



山崎部会長

【賀部副部会長】「就労部会」から「しごと部会」への改編 1 年目の活動内容は、従来の形を引き継ぐことで始まり、しごと部会の形を模索した初年度になったと感じています。各ワーキング活動は委員のみなさんのおかげで課題や反省点はあるものの、次につなげることができたと思います。また、課題や反省点が出たことで今後のしごと部会の活動を考えていける材料ができたと考えれば今年度の活動は基盤づくりとして十分だと思います。

② 今後の課題について



賀部副部会長

【山崎部会長】各ワーキング活動から見えた課題としては、各ワーキングが相互に連動することができたか、また活動の中で見えた課題がそれぞれで共有できたかというところは次年度の課題であると思います。

【賀部副部会長】しごと部会としての周知を広げていくことが必要だと思います。就労に関わる会議等にはいつものメンバー・事業所が参加していることが多いと感じます。明石市全体で考えていくテーマだと思うので「いつものメンバー・事業所」ではなく幅広い方にも一緒に考えてもらえる形を今後つくっていくことも課題の一つだと思います。

③ 平成 27 年度の部会について

【山崎部会長】次年度の課題も踏まえ、地域自立支援協議会の中の専門部会としてどうワーキングを組み立てるのか、「障害福祉計画」とどう絡めていくのかを部会の充実を図り調整していく必要があると思いました。あくまで予定ですが次年度はもう少し裾野を広げ「はたらく」ことについて「福祉的」という言葉が妥当なのかどうかはわかりませんが、福祉的就労も視野に入れたワーキング活動の展開ができればと思っています。

【賀部副部会長】今年度出た反省点や課題に取り組み、しごと部会のすそ野を広げていけるような取り組みができたら良いと思います。焦らずに一歩ずつ前に進めていけるように多くの方から明石市の就労支援に関する意見を聴きながら働くことを目標にしている方達が働きやすい環境・挑戦しやすい環境に身をおけるようにしていきたいです。

◎次号 (Vol.12、Vol.13) からのリポートは、各ワーキンググループの取り組みを振り返り、リーダーより報告いたします。

- ※ Vol.12 ワーキング1 (就労支援連絡会 渡邊リーダー)
- ワーキング2 (しごとを考えるケース検討会 人見リーダー)
- ワーキング3 (はたらくなかまのつどい 田中リーダー)
- ※ Vol.13 ワーキング4 (障害者就労支援者研修 馬場リーダー)
- ワーキング5 (就労移行支援事業所ネットワーク会議 鳥居リーダー)